

生ごみをギュッとしぼると約10%の水が減るんです！

環境都市推進課 ☎(888)5708

暑い日が続きますが、みなさんいかがお過ごしですか？
生ごみ、増えてませんか？

8月は オールあきた 水切り月間



市では、生ごみが増える8月を「オールあきた水切り月間」とし、生ごみの水切りの実践方法の募集や集中的なPRに取り組んでいます。生ごみをギュッとしぼると約10%の水分が減ります。みなさんもぜひご協力ください！



生ごみの水切り アイデア募集中！

あなたが実践した生ごみの水切り方法やアイデアを募集中です。実践方法やアイデアが分かる写真を添えてご応募ください。

応募者全員に水切り袋、また、抽選で10人に食材を余すところなくおいしく使い切ることができ、ごみを出さない調理もできる「圧力鍋」をプレゼント！締め切りは9月8日(金)。詳しくは、広報あきた8月4日号と同時配布したチラシをご覧ください。

課長級以上の職員が「子育て応援リーダー宣言 ～秋田市版イクボス宣言～」を行いました

部下の仕事と子育ての両立をどんどん応援します！



市は昨年度、市長をはじめとする次長級以上の幹部職員が「子育て応援リーダー宣言」秋田市版イクボス宣言」を行ったところです。イクボス宣言のさらなる普及を図るため、7月19日には、新たに次長級になった職員と課長級の職員が、合同でイクボス宣言を行いました！（右はそのときの様子）

■市内事業所が対象のイクボス講演会を開催

9月8日(金)午後3時～4時、市役所5階正庁で、NPO法人ファザリング・ジャパン東北共同代表の横田智史さんが、「イクボス式経営で職場と業績を変えるマネジメント」と題し講演します。申し込みは子ども総務課へ。☎(888)5687

事業所 みなさんへ

会社に保育園を
つくりませんか

整備費などの補助制度を創設

会社が社員のために保育園を作る「企業主導型保育事業」は、施設整備や運営費に対し認可施設並みの助成が、国から受けられます。

また、秋田市ではこの事業を推進するため、新たに施設の整備や備品の購入に対する補助制度をつくりました。詳しくはお問い合わせください。

国の助成

整備費 ▼ 施設整備に必要な費用の4分の3相当分
運営費 ▼ 企業の自己負担相当分および利用者負担相当分を除く部分



秋田市の助成①、②のいずれか

①施設整備費 ▼ (基本単価+設計料加算)の4分の1相当分

*対象経費が、(公財)児童育成協会の定める基準額を超えた場合に対象になります。

②備品整備費 ▼ 備品購入や外構工事に必要な費用の2分の1相当分(上限1千万円)

問い合わせ

◆補助金については

子ども育成課 ☎(888)5692

◆施設・設備の設置基準については

施設指導室 ☎(888)5695

市職員の採用試験

保育士A、B(職務経験者) 行政(身体障がい者対象)

平成30年度採用予定の保育士、行政(身体障がい者が対象)の採用試験を実施します。

市役所の総合案内(1階)・人事課(4階)、各市民サービスセンター(中央を除く)、駅東サービスセンター、秋田市東京事務所(千代田区)で配布する受験案内書に従って手続きしてください。申込締切は9月8日(金)です。

受験案内書は、ホームページからもダウンロードできます。<http://www.city.akita.akita.jp/city/gn/ps/>

試験区分 採用予定人数	受験資格 (それぞれ要件をすべて満たすかた)
保育士	A 3人 (1)昭和63年4月2日以降に生まれたかた (2)保育士資格を取得または取得見込みのかた
	B 2人 (1)昭和53年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれたかた (2)保育士資格を有し、保育士または幼稚園教諭としての職務経験が通算して5年以上あるかた *職務経験には一定の要件があります。詳しくは受験案内書をご覧ください。
行政 (身体障がい者) 3人	(1)昭和63年4月2日から平成12年4月1日までに生まれたかた(学歴不問) (2)身体障害者手帳の交付を受け、その障がいの程度が1級から6級までのかた (3)自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに職務の遂行が可能なかた

◆一次試験

10月15日(日)、秋田市役所で

保育士

試験方法

保育士A▶一般教養試験、専門試験、適性検査
保育士B▶書類審査(事前提出)、社会人基礎試験

10月22日(日)、秋田市役所で

行政(身体障がい者)

試験方法

一般教養試験(高校卒業程度)、作文試験、個別面接試験

*試験には車いす、補聴器などの持ち込みができません。また、個別面接試験は、手話通訳・要約筆記にも対応します。

問い合わせ 人事課☎(888)5429・FAX(888)5430
Eメール ro-gnps@city.akita.akita.jp



7月28日の表彰式で。受賞団体のみなさん

チャレンジデーでのユニークな取り組みを表彰しました!

5月に開催した「はずむ! スポーツチャレンジデー2017 in 秋田市」で、ユニークな取り組みを実施した4団体を表彰しました。

大賞を受賞したのは、飯島消防団と飯田住民のみなさんの「火事だ! みんなで消火、バケツリレー」でした。ご参加ありがとうございました! スポーツ振興課☎(888)5611

受賞団体と取り組みの内容

- 大賞▶飯島消防団と飯田住民
- アイデア賞▶秋田市手話研究会「手話での学習」
- 元気賞▶ショートステイさるびあ「介護予防体操」、ウエルビューいずみこども園「チャレンジデーげんきはつらつ大作戦!」

新屋ガラス工房に掛時計の寄贈



目録を渡す秋田銀行の新谷明弘取締役頭取(右)と鎌田副市長

秋田銀行から、「秋田市新屋ガラス工房」に、掛け時計2台をご寄贈いただきました。時計は、電気炉室と加工室にそれぞれ設置します。ありがとうございました。

企画調整課まちづくり担当☎(888)5462